器 28　医療用定温器
一般医療機器　腹膜灌流液用加温器　JMDN コード　70478001

スワン保温庫　MH-4S 型

【警告】

庫内に揮発性可燃物(アルコール類)を入れないこと。
[爆発する恐れが有ります。]

【形状・構造等及び原理等】

手術室、分娩室、救急処置室等に設置する壁埋込型の加温・保温庫です。

本体上部に、加温ユニットを備え、温風を庫内へ循環させて保管物を加温・保温する。
前面ステンレス　SUS－304製
ファンヒーター(ニクロム線)による庫内温風循環方式
庫内設定温度　室温～50℃　の間で設定可能
庫内温度　場所により、設定／表示温度±2℃の誤差があります。

【使用目的又は効果】

生理食塩水、腹膜灌流液、透析液等を注入する前に加温並びに一時保存に用いる。

【使用方法等】

操作パネル上段に、電源スイッチ、温度調節器があります。
下段の主電源は、非常時以外は常時「ON」で使用します。
庫内温度が一定時間経過した後に、設定温度にならない時は異常警報ランプが点灯しブザーが鳴ります。
警報ランプが点灯した時は、取扱い説明書の指示に従って処置してください。

【使用上の注意】

出荷時は40℃(推奨温度)に設定されています。
ご使用前に設定温度を変更して下さい。(最初のみ)
設定温度は、灌流液等の注入方法と温度低下を考慮して適切な温度(37℃～45℃　の範囲)を設定してください。
温度設定は、患者さんに注入時の液温が何℃になるか検証し、取扱い説明書の注意に従い設定して下さい。

【保管方法及び使用期間等】

保管方法

医用室の壁面に工事で設置、固定する。
設置環境(動作保証条件)　室温10℃～30℃以内
湿度　90%　未満(但し、結露しないこと)

耐用期間

通常の使用で7年～10年、使用頻度、保守状況により変わる。[自己認証(社内データ)による。]

【取扱い上の注意】

生理食塩水、灌流液等のバックで温風の出口をふさがない様に注意して下さい。[庫内の温度誤差が大きくなったり、一部だけ高温になることがあります。]
補液(生理食塩水)、腹膜灌流液、透析液等　以外の物品を保管しますと不具合が発生することが有ります。
[保温中は容器の蓋が閉まっていても薬剤成分が蒸発することがあります。錆の発生や故障の原因となります。]
決められた薬液以外の保管はしないで下さい。

【保守・点検に係わる事項】

使用者による点検項目

警報ランプが点いたり、異常を感じたら取扱説明書に従って点検し、故障と思われる場合は、修理業者へご相談ください。
設定温度を変更する場合は、製造販売業者へご相談下さい。

業者による点検項目

半年点検で、設定温度を確認(37℃～45℃の範囲)し、停止状態(室温)から設定温度まで60分以内に達することを確認します。
異常又は警報ランプが点いたら取扱説明書に従い処置をします。
庫内に決められた物品以外保管されていないこと。
500ccボトル換算で、30本以上が詰め込まれていないことを確認します。
修理は、メーカーより技術指導を受けた修理業者が行って下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者:エア・ウォーター防災株式会社
〒651-2271　兵庫県神戸市西区高塚台 3-2-16
TEL　078-992-1400
登録製造所:　エア・ウォーター防災株式会社　摂津工場

［販売業者］

取扱説明書を必ずご参照下さい